

花と緑のぐんまづくり通信

問い合わせ 都市施設課 (☎2332)

<https://www.city.fujioka.gunma.jp/hanamidori/>



「花と緑のぐんまづくり 2019 in みなかみ」のクロージングセレモニー

「花と緑のぐんまづくり 2019 in みなかみ」のクロージングセレモニーが9月23日にみなかみ町で行なわれました。鬼頭みなかみ町長から盾を引き継いだ新井市長は「訪れた全ての人に感動してもらえる大会にする」と意気込みました。



花と緑のぐんまづくり 2020 in 藤岡 事業説明会の様子



10月10日、花と緑のぐんまづくりの事業説明会がみかばみらい館で行われ、市民ら約300人が参加しました。説明会では市民の皆さんと共に盛大なイベントに育てるという思いを込めて、新井市長から地域コミュニティの代表である秋葉区長会会長へ盾が手渡されました。また、プレイベントに協力した市民団体の代表などが本イベントの抱負を語り、本イベントへの気持ちを新たにしました。

■冬桜と紅葉のコラボレーション
 国の名勝および天然記念物に指定されている冬桜。秋から冬の時期と春の年2回、お花見が楽しめます。秋から冬の冬桜の見ごろは11月初めから約7000本の冬桜が次々と花を咲かせます。また、10月下旬からは紅葉も色付き始めます。紅葉の見ごろは11月半ばまでなので、11月は冬桜と紅葉の競演を楽しむことができます。紅葉が色づく時期には



桜山に行ってみよう！

■ミカン狩り
 桜山の麓、三波川の日当たりの良い斜面にはミカン園が広がっています。ミカン園ではミカン狩りを楽しむことができます。甘みと酸味のバランスの良い、味の濃い秋の味覚はいかがでしょうか。開園 12月中旬までの午前10時～午後4時 料金 500円(食べ放題+1袋持ち帰り) 問い合わせ 桜山ミカン組合 (☎2826)

日本庭園周辺でライトアップも行われます。薄紅色の冬桜と真っ赤な紅葉が夜空に浮かび、幻想的な雰囲気となります。ぜひ、お楽しみください。
 ○ライトアップ
 期日 12月1日(日)までの金・土・日曜日
 時間 午後4時～9時(入園は8時30分まで)
 問い合わせ にぎわい観光課 (☎3111)

耳より情報 知って得する情報満載♪



2000年の伝統を継承

江戸山神事相撲が開催

藤岡市と羽咋市の姉妹都市提携のきっかけとなった、日本三辻の一つに数えられる「江戸山相撲場」。ここでは、羽咋神社の祭神・磐衝別命の命日である9月25日に、毎年神事相撲が行われています。

今年も、四隅にかがり火がたかれた土俵で、「水なし、塩なし、まったなし」の古式にのっとり、加越能三州から集まった力士約100人が夜遅くまで土俵で激しくぶつかり合い、会場に詰め掛けた観客を沸かせました。

奥弓の結びの一番では、習わしどおりに両力士が土俵際で行司を巻き込んで団体となり、両者大関の座に就きました。



かがり火がたかれる中、行われた江戸山神事相撲。

ふじおか Culture

～藤岡の文化を探る～ No.44

問い合わせ 文化財保護課 (☎23 5997)

古墳に並んだ「はにわうま」

～馬は権力の象徴～

今年度の夏季企画展のテーマとなった埴輪には、古墳時代の人々の思いが込められていました。中でも、群馬県で数多く見つかった馬の埴輪については、特に強い思いがあったようです。

馬はもともと日本には生息しておらず、古墳時代になって朝鮮半島から運ばれてきたといわれています。繁殖が始まったばかりで数も少なかったため、有力者しか乗れない貴重な存在でした。今でいう高級車のように、馬自体が単なる飼育動物ではなく権力の象徴となっていたので、有力者の中でも上位にいる人たちは、金色に光る豪華な装飾(馬具)で馬を飾り立てて、自身の権力を最大限にアピールしていました。古墳に並んだ馬の埴輪はほとんどが豪華な馬具を身につけたもので、葬られた人の権力を示す良い目印となっていた

ようです。

本市では、大きさが20mに満たない古墳にも馬の埴輪が並べられていました。小さな古墳ではありますが、馬の埴輪を古墳に並べることでその古墳に偉い人が葬られていたのだと示そうとしたのかもしれませんが。



平井地区の古墳から出土した馬の埴輪(藤岡歴史館常設展示)